

特定非営利活動法人ハロハロ  
2015年度年次報告書

# 2015

HALOHALO Annual Report



私もあなたも  
豊かな未来へ一歩近づく  
チャンスを世界に。

チャンスを世界に。

©NPO HALOHALO



# 2015年のお礼とご報告

理事長

成瀬 悠



いつも弊団体を応援してくださり、本当にありがとうございます。

私自身の生きる目的にできる働き方がしたい、2007年に勤務していた印刷会社を辞め2008年に社会起業という働き方を知り、ローカルな人々のニーズを目標にし、達成を人々と分かち合える事業確立を目指して早7年が過ぎました。

今にしてみれば、初めの3年は自分が目指す事業の形も捉えることができず、ただただローカルな地域に密着することで過ぎていったように思います。事業体としても初めは個人事業として取り組んでいましたが、2011年以降NPOとして人々とともに目標を分かち合える組織母体にしたいと気付いてからは、様々なことが組織として整備され活動を展開しやすくなりました。

そして2015年、皆様の大きなお力添えあって、NPOハロハロは組織としても事業としても、大きく飛躍する年となりました。生計支援事業はマイクロクレジット導入により平均収入が前年度比200%を達成、手工芸フェアトレードによる生計向上数値も微力ながらも年々確実に伸びています。教育支援事業では幼児教育や高等教育の積極運営に関与し、次世代人材の育成計画を打

ち出すことができました。

全ての成果と拡大は、フィリピンならびに日本で支えてくださる皆様のお力添えなしには為し得ることができませんでした。厚く御礼申し上げます。

また、この事業成果を継続させ、現地団体による運営の元に展開させるべく本年も目標の達成に邁進して参ります。今まで培ってきた経験と成果は拡大した事業地域において、その手法を積極的に活用します。

弊団体は、世界中の誰もが、人間らしい生活基盤の元、魅力的な働き方生き方を見つめられる社会環境を整えるべく、少しずつ歩みを進めております。

弊団体との関わりをきっかけに、国籍を問わず誰もが、社会問題を身近に捉え、自分の生きたい社会は自分で作ることに前向きになってもらいたいと願っています。積極的に社会参加する人材を地域に育み、地域の未来を人々の手で変えていこうとしています。

私一人の力は微力ですが、皆様と一緒に歩んだ一歩は確かな足跡となって刻まれています。

どうぞ2016年も応援をよろしく願います。

# ハロハロの2015年 Highlights in 2015

## フィリピン

### マニラ

2014年から継続して期間限定の手工芸講習を開催、約38世帯約190名の生計向上につながっています。講師やマネージャー、コーディネーターなどの役割は、組織強化やリーダーシップにつながりました。地域行政や教育機関、民間団体同士の連携強化も推進されました。学生インターンとボランティアにより、地域の人々との国際交流が活性化。

### セブ

Feliz様と提携し、シェルアクセサリー製作を開始。15世帯約の生計が向上。らあ麺屋ひろ様と協働で教育基金開設。クラウドファンドで建設した交流センターにて幼児教育をスタート。約50名の児童の学習支援につながりました。セブ北部台風被災地で地域住民組織設立。日用品製作による生計向上が進行中。

## 日本

### 東京

プロボノスタッフ、インターンスタッフの充実と育成  
活動説明会の定例化によるサポーター予備層の獲得  
映画「フェアトレードボーイ2」上映により約200万の活動資金につながりました。

### 千葉

約5年継続してきたフェアトレードの1日だけの祭典から、フェアトレードを千葉全体に広める年間を通した運動体を結成。

### 名古屋

スタディツアー参加メンバーが日本全国でのハロハロの活動の展開をサポート。特に名古屋では、映画上映やスタディツアー報告会などが開催されました。

今、現場にあるリアル  
代表成瀬悠の視点から

### フィリピンの絶対的貧困

2015年生活に要するコストに基づき国際貧困ラインが今までの1.25ドルから1.90ドルに改定されました。

ミレニアム開発目標などにより世界の貧困率は低下していると言われますが、フィリピンにおいては貧困層はわずかですが拡大していると発表されています。フィリピン統計局では全人口の3割弱が絶対的貧困の状況に置かれていると見えています。

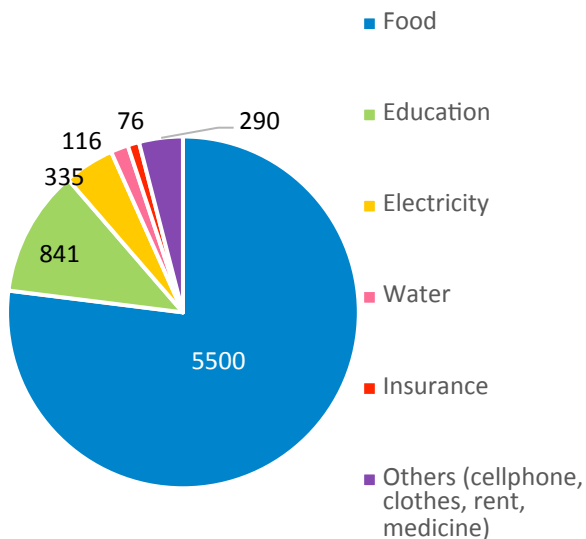
### 日本の相対的貧困

現在所得格差の拡大する日本では、6人に1人が、国の所得の中央値の半分を下回る生活をしています。

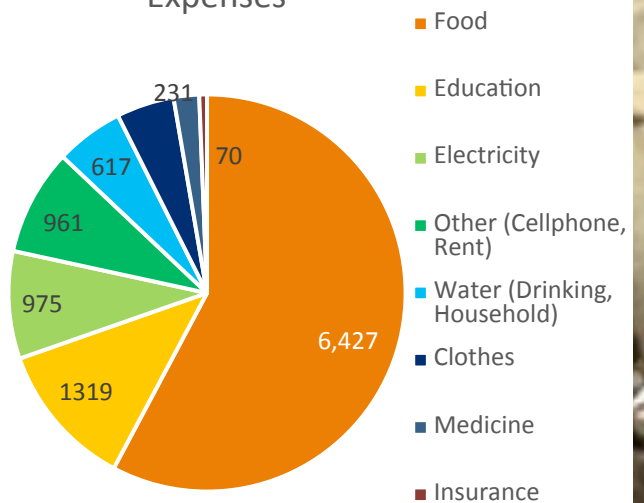
(例) 平成21年中央値250万円、貧困ライン125万円以下  
(月収約10.4万円)

「共に働き共に生きる」場作りから  
貧困の連鎖に歯止めをかけ  
豊かさを共有できる社会を目指します。

Cebu Average Monthly Expenses



Manila Average Monthly Expenses





# 事業地域生活調査

(2014～2015年実施弊団体調査)

平均家族構成員数・約5名  
生活を共にする人数・約6名  
\*親類など

## セブドゥムログ事業地

セブ市南に位置する漁村。  
ミンダナオやネグロスなどの周辺諸島から貨幣収入を求めて  
出てきた人々が生活するスクワッター地域。

平均収入 9,400php/月 (310php/日)

平均支出 7,100php/月 (240php/日)

- ・主な職業 男性：運転手40%、漁師10%、建設現場関係5%  
女性：専業主婦72%、その他露天商
- ・主な支出 食費78%、水道光熱費10%、教育費12%  
30%以上の家庭が1000php以上の赤字を抱える
- ・生活備品 TVがある60%、トイレがある15%、ベッドがある10%  
冷蔵庫や炊飯器がある5%
- ・教育状況 186人の学習適齢児童生徒のうち6人が学校に通っていない。  
186人の65%は5～12歳の幼稚園～小学校課程である。  
高等教育で学んでいるのは全体の9%のみ。

## マニラパヤタス事業地

メトロマニラの廃棄物収集を担うダンプサイト地域。  
フィリピン中から仕事の機会や災害などの事由により  
人々が集まる移民の村。村全体が廃棄物を生活の糧としている。

平均収入 10,800php/月 (360php/日)

平均支出 10,000php/月 (300php/日)

- ・主な職業 男性：ゴミ収集関係20%、運転手16%、スカベンジャー8%  
女性：専業主婦55%、その他ジャンクショップや露天商
- ・主な支出 食費60%、水道光熱費15%、教育費13%、通信費10%  
40%以上の家庭が1000php以上の赤字を抱える
- ・生活備品 家の中に台所がある73%、トイレがある68%、ベッドがある30%  
冷蔵庫や炊飯器がある17%
- ・教育状況 174人の児童生徒のうち9人が学校に通っていない。  
幼稚園～小学校課程が80%を占める。  
高等教育で学んでいるのは全体の5%。



# 3つの根幹事業

援助ではなく、  
仕事の機会を。

## 1：生計向上事業

～副収入機会の拡大と自立～

手工芸

(廃材を活用した雑貨製作、シェルアクセサリ製作)

マイクロクレジット (小規模ビジネスへの資金貸付)

## 2：教育事業

～次世代人材の育成～

幼児教育

再生PCを活用した学習支援

高等教育への進学支援

## 3：啓発事業

～国際理解と共生の推進～

環境美化 (ゴミ拾い運動の実施)

国際交流 (スタディツアーの実施、  
語学学習と交流の推進 (英語・日本語)、  
文化交流)

催事への出展 (活動説明会の実施、  
エキシビ出展、  
その他国際理解を推進する各種催事)

マニラ事業地

セブ事業地



# 生計事業①

# 手工芸



廃材を活用した雑貨製作

マニラ 2地域  
 サマカバイセンター  
 パーランパンタオエラップ校  
 セブ 1地域  
 ドゥムログ地区各家庭

マニラでは、パヤスタダンプサイトと再居住区指定地域に事業拡大。約40名の女性を対象に定期講習を開催し、個人の収入増に貢献。  
 講師・ロイダ、キャシー、ラウド  
 実施内容・ミシンによる縫製講習、手編講習（菓子袋、サック）  
 カラーコーディネート

セブでは約5名の少人数の住民に特化し、各家庭を中心に事業を継続し個人の収入増に貢献。  
 実施内容・ミシンによる縫製

ハロハロ発注額合計：約50万  
 マニラ約40万（33,000円/月）  
 セブ約10万（8,300円/月）

ハロハロの販売額年間約90万  
 （内訳）イベント販売約40万、NETSHOP約5万、委託卸15万  
 \*在庫商品約35万円分を常時保管

シェルアクセサリー製作



フェアトレード&エシカルアクセサ  
 リーブランドFERN様と提携  
 （2015年3月から）

事業地 セブ州タリサイ市ドゥムロ  
 グ

参加者 約15名

年間買取額：約18万  
 （月2万円程度）

繊細なアクセサリー製作に戸惑いな  
 がら、現場担当者の根気強い指導も  
 あり、人々の技術向上と自信の回復、  
 社会参加と収入向上に大きくつな  
 がりました。

「1Bracelet for 1Food Project」  
 ブレスレット1本の販売で100円を給  
 食費に寄付する事業で、11万3千円  
 のご寄付を頂きました。  
 シティオホープの幼児教育の現場で  
 の栄養食配給費として2015年10月  
 から週1回程度で2年分に当てさせ  
 ていただいています。



# 生計事業② マイクロクレジット



漁業組合ローンの継続運営

ドウムログ漁業組合

2015年 構成員数約50名  
貸付額約56万円

この小資金貸付は、2014年はじめに台風ヨランダ復興支援として、生活クラブ生協千葉虹の街様、風の村様、アーシアン様からのご寄付金約100万を資金に始まりました。2014年度中に漁師約35名と地域住民約15名が資金貸付を利用し、各世帯の収入向上につながりました。とくに漁師はエンジンやボートの設備投資を行い平均約200%の世帯収入向上を達成しました。

一方、2015年8月に脆弱な管理体制により約30万円の盗難事件が発生。関係者による問題対策会議が行われ、関係者家族は組合に対して定期的な返済を行っていきます。また構成員もこの現状を理解し、よりよい運営体制へと改善すべく貸し付け制度の細やかな体制整備が進められています。

また、漁師以外のビジネスに対しての貸し付けは、ビジネスの運営状況により返済が滞ることが多いことが指摘され、返済延滞状況の改善のためにも、ビジネスへの貸し出しに対するより細やかな指導と計画が必要とされています。

課題は多くありますが、一歩ずつ自分たちで継続して運営できる体制を持った組合組織へと成長を遂げています。



セブ北部女性組合の設立

北部台風ヨランダ被災地を事業対象地域に拡大。

地域 セブ州メデリン市パノグナワン

団体名 ニューライフセービンググループ組合

構成員数 約30名

事業内容 貯蓄制度  
生計向上のための日用品生産販売  
・洗濯洗剤・柔軟剤・台所用洗剤

さとうきび労働者として2日5000の不安定な収入で暮らす人々が大半。

山岳地域のため物価が総じて高い。

台風被災からの生計向上のため、ローカルNGO (CNS) による貯蓄の推奨訓練と日用品の生産講習が行われました。

ハロハロでは、この講習で得た知識と設立した組合をベースにして、地域の人々が仕事の機会を創出できるように、スタートアップ資金協力を行うこととしました。



## ラーメン屋ひろ教育基金

寄付金総額75万

資金提供：ラーメン屋ひろ様

■基金現在高  
 幼児教育基金28万  
 奨学生基金33万

■支出  
 幼児教育運営費2万（月3万）  
 教育施設備品費0万  
 ハロハロ団体会議費0万

セブ州タリサイ市シティオホープの交流センター（クラウドファンディングで設置）で幼児教育を実施。奨学制度はドゥムログ地域を合わせて選抜の上、2016年6月の新学期に第1期生を排出予定。継続した運営のため幼児教育半年分の運営費8万、奨学生1名につき4年分の学費約88万を基金に確保しています。また奨学生は卒業し就職したら次の奨学生のスポンサーになることを条件とし、地域の中で継続できる運営体制の確立を目指しています。

実施内容  
 1..土曜学校  
 3~15才 約50名  
 ・情操教育、栄養食配給  
 2..幼稚園  
 3~6才 18名 教師 1名  
 月々金 午前9時~11時  
 ・読み書き計算の基礎学習、清掃

# 教育事業

## 再生パソコン活用事業

パソコン環境の整備による教育支援を拡大

■マニラ  
 パーランパンタオパヤタス校2台（ネット環境）  
 エラップ校1台、サマカバイセンター1台

■セブ  
 リバーサイド現地団体事務所3台（ネット環境）、  
 シティオホープ事業地3台（整備中）

ハロハロは、ネット情報へのアクセス困難からつながる格差問題に対し、貧困地域にインターネット環境を整備することによって、教育を受ける機会の拡大と、生計支援事業におけるスマホやマーケティング機会の拡大を狙っています。  
 マニラでは学校の先生が授業準備に使用したり、奨学生が調査や課題提出に活用しています。生計支援事業に関わる女性たちは組織の書類作成に活用しています。  
 セブでは主に中高生が学校の課題提出に活用し、積極的な通学を大きく後押ししています。  
 地域の青少年ボランティアがパソコンのメンテナンスや指導に当たり始めており、地域人材の育成と地域連携にも大きく関与しています。

裨益者数 マニラ事業地約300名、セブ事業地約200名

事業協力：Class for Everyone様

2015年資金の協力：  
 スマイルby JEC様 10万円（2015年3月）





# 啓発事業

## 環境美化

事業地  
セブ州タリサイ市ドウムログならび  
にシテイオホープ

参加

各地域住民約30名  
合計約60名

特に専業主婦として家に残る女性たちが地域の衛生環境ミーティングに積極的に参加し、定期的な地域の清掃活動についてリーダーシップを発揮しています。

成果…  
女性たちが地域社会へ参加する契機となりました。  
地域のゴミの問題の分析を行い、新興住宅地や地域の企業の環境問題が明らかになりました。これらについてのレポートを現地協働団体がまとめ行政に提言するという大きな一歩を踏み出しました。

課題…  
地域住民の生活環境の改善には、行政と連携してゴミ回収システムを正しく運営する計画と実践が求められています。



### ① スタディツアー

■ オリジナルツアー 合計3回 全12名参加

5月 5名(大学生2名、社会人3名)

8月 3名(大学生3名)

12月 4名(大学生2名、社会人2名)

■ 1日ツアー マニラ 3名(5月)

■ 1日ボランティア体験 セブ 1名(4月)

■ オーダーメイドツアー 合計3回

マニラ (BUKAS様 3月)

横浜国立大学様EIS様ご仲介 3月

〒(連)海外連帯ボランティアの会様 12月

■ 提携スタディツアー

事業提携…マニラNGO Palette様(5月)

実施時期…毎月1回程度 1日3時間のミニツアー

年8回開催

実施内容…現地住民活動を知るオリエンテーション

パヤタススカベンジャー家庭訪問

フェアトレード雑貨製作紹介とバザー

### ② 文化交流

■ 語学交流 英語交流プログラム (11月)

セブ事業地 シテイオホープ

3〜7歳児約30名

日本人ボランティア1名

実施内容…英語で自分や身の回りを紹介

■ ダンス交流

マニラ事業地 パーランパンタオパヤタス校

児童100名

日本人インターン6名 (10月)

実施内容…ソーラン節とフィリピン伝統舞踊の相互伝授



## 国際交流





## フェアトレードフェスタ



<http://fairtrade-chibant.jimdo.com/>  
イベント開催  
2015年5月9日(土)  
きぼーるアトリウム  
(千葉)

来場総数：約800名  
約20団体出展

隔月有志MTG(船橋) 定例化  
ちばにフェアトレードを広げる推進運動を展開

## フェアトレードサロン

フェアトレード交流サロンを開催しました。  
(2月、4月)

来場総数：約30名

協力：パッチワーク様  
旅するフェアトレード  
カフェ Noah's Cafe様



## 啓発事業

## 映画「フェアトレードボーイ」



フェアトレードをテーマにした完全コメディ第2弾  
上映イベントとDVD販売を実施。

URL：<http://ftboy.jimdo.com>

完成イベント会場：  
シダックスカルチャーホール(渋谷)  
約300名動員

第1弾第2弾DVD販売数218枚

自主上映

ブリリアシヨートシヨートシアター(横浜)

シアターカフェ名古屋  
逗子フェアトレード映画祭2015  
Kuriya長崎

## 休日ハロハロサロン

毎月の定期活動説明会を開催。(4月)  
活動のPRと支援者獲得につながっています。

概要：毎月末日曜日 11:00～12:00

参加費500円(軽食付)  
インターンと代表による活動案内

総参加者数：21名

## 外部催事出展・講演

イベント出展：総出展数 27回  
出展地域：東京、名古屋  
販売額：約32万

講演：

逗子フェアトレードタウン映画祭様  
大人の寄付遊びSON様  
スペースナナ様主催イベント  
JEC連合様



# 募金、寄付ご報告

## クラウドファンディング

Readyfor?にご協力いただき誠にありがとうございました！

ご寄付総額：48名様 52万7千円

- 2名様 10万円
- 3名様 3万円
- 15名様 1万円
- 29名様 3千円

ご寄付いただきました皆様には、5月にリターンのお品を御郵送いたしました。

- 支出  
Readyfor?手数料他 87,888円
- 建設資材購入費
- 建設人件費

■実施内容  
セブ州タリサイ市ドゥムログ地区シテイオホープに子供も大人も集い交流できるセンターを建設。  
2016年1月現在完成したセンターで幼児教育や地域の女性たちの集いが開かれています。

## gooddo

毎日WEBクリックにご協力いただき誠にありがとうございました！！

### 収入

広告協賛費 計：¥8,179  
(協賛企業への「いいね」、商品購入、応援クリック、FBシェア)

### 支出

gooddo手数料 計¥2,574



<http://gooddo.jp/gd/group/halohaloproducts/>

## きしゃぼん 古本募金

皆様の貴重な書籍のご寄付を誠にありがとうございました！！

ご協力：嵯峨野株式会社様

■計 517冊 32,931円  
ご協力ありがとうございました。

- 藤原愛様
- ウイメンズショップパッチワーク様
- 鈴木久志様
- 井本裕様
- 原田泰頭様

本・DVDで募金ができます

ハロハロ × 古本募金きしゃぼん  
フィリピンの貧困地域に働くチャンス！  
本、DVD、CD、ゲームなど送って下さい！  
5冊以上お送り下さい！送料無料で自宅まで取りに行きます！  
医学書・実用書ほか、まじりめな本、大歓迎です！

援助ではなく、働く機会を広げ、地域を豊かにしていきます

例えば 50冊の本で  
フィリピンの政府さん1名が1週間研修トレーニングを受け仕事の手帳を身に付けることができます。(研修参加1冊50円の場合)

特定非営利活動法人ハロハロ - NPO HALOHALO  
当団体はフィリピンの貧困地域に生活する人々に仕事の技術やスキルを伝えて自立を持って働くことのできる場を広げています。人々は与えられた援助ではなく自ら働くことで、生活改善を望みます。また、非営利での教育の大切さへの理解を深め、子どもたちの未来への可能性を広げます。地域住民の方で、持続可能な事業が実現することを、ハロハロは全力でサポートしています。

お問合せ/募金のご依頼は  
☎0120-29-7000 (受付時間)9:00~18:00 月~土曜日限定まで



# マニラチーム

## 実施内容

### 1：現場進行管理

週1回の現場総合MTGが定例化。現場監督役も担い、現地事業がスムーズかつダイナミックに展開しました。

### 2：ローカルマーケット開拓

廃材を活用した雑貨製作の拡大に伴い、マニラ市内での販路開拓  
ユニカセ様（レストラン）で定期販売  
マニラ市内におけるハロハロ活動支援者マーケットの開拓



### 3：国際理解教育

現地協働団体との連携をもとに、地域の子ども～大人を対象に国際理解を深める文化交流を実施。2015年は3～6才の児童約100名を対象としたダンス交流を実施。ソーラン節とフィリピン伝統ダンスを相互に教えあい相互の文化を理解し合いました。

### 4：啓発事業（日本人を対象にした事業説明や交流イベントの実施

2015年11月に第1回マニラ交流イベントがUPで開催され、4名の参加者に現地での活動をお話することができました。今後は毎月定例のイベントとしての確立を目指します。



### 5：現地他団体や行政との連携

現地行政、教育機関、住民組織、NGOなどへの訪問を積極的に行い、連携を深めています。

## マニラインターンのからのメッセージ

「子どもたちとのダンス交流が実施でき達成感を覚えています。他団体とも積極的に連携したいです。」

「生計支援事業は、母親達が真剣に取り組む姿や将来への希望の声を聞き、雇用の機会作りが芽を出しているように感じています。そこに自分が関わっていることが嬉しいです。」

「裕福な家庭出身のフィリピン人とパヤタスで生活する人々との格差を日々感じます。」

「現地の人々と信頼関係を築いていくことが難しくもありとてもやりがいを感じます。日々多くのことを学べます!!」





## ユースメンバーから

「活動は困難も含めて楽しいです、私たちにも成長のチャンスを与えてくれています。」

「ハロハロの現場を知るにつけ、フィリピンに8年いた経験を活かして自分に何ができるかを常に問いかけています。今の目標は自分自身がさらに成長し、ハロハロの現場によりコミットすることです。」

「メンバー同士のコミュニケーションを活性化することがとても大切だと思っています!もっと若者向けに広報しようとしています。」

「受け身だった自分が、フィリピンの現場に生きる人と出会い、遠い話が近くの友達の話に変わり、自発的に物事に向き合い、学びたいと思える今につながりました!」



2015年7月ユース設立

## 学生交流サロン

学生がハロハロに関わる自由なテーマを活発に語り合うワールドカフェ形式のサロン。様々な大学で開催。

全4回 参加者総数約70名

創価大学(4月、11月)、お茶の水女子大学(11月)、東京女子大学(11月)

今までのトピック:「フェアトレード」「フィリピンの幼児教育」など。



## フェアトレード出展

学園祭などを中心に、ハロハロのフェアトレード雑貨のショップを開くとともに、活動紹介をしています。

全2回出展

お茶の水女子大学、和光大学



## 広報

学生の視点から同世代に向けて、ハロハロの活動を伝える広報活動に挑戦中。

現在女子大学生が多いことから、「女性」をテーマにした日比の動画作品に取り組んでいます。

現地事業地で行った「女性に対するインタビュー」からは、フィリピン事業地において女性たちは、妊娠と出産における健康リスクの不安を大きく抱えていることが明らかになりました。



# スタッフご紹介

ひとりひとりが

世界にチャンス振りまく

『チャンスメーカー』



## 役員

- 理事長** 成瀬 悠 \*事務局兼任
- 理事** 玉置 真紀子
- 理事** 庄司 香
- 理事** 黒柳 英哲 リンクルージョン株式会社代表取締役
- 理事** 村社 淳
- 監事** 深澤 純子 特定非営利活動法人ヒューマンサービスセンター常任理事



## インターン・ボランティア

### プロボノ

- 國井 直温 (経営アドバイザー)
- 山田 高司 (印刷デザイン)
- 大阿久 あづさ (雑貨デザイン)
- 緒方 佳子 (製品撮影)
- 安田 鉄平 (ITサポート)
- 西村 拓人 (名古屋事業サポート)
- 池田 歩 (セブ事業サポート)

- 下鳥 舞佳 (印刷デザイン)
- 高倉 諒子 (雑貨デザイン)
- 藤原 愛 (事務局)
- 大澤 彩香 (事務局)
- 鈴木 礼子 (事務局)
- 牧田 静香 (名古屋)
- 勅使河原 由香 (セブ現地)
- 井上 由香 (マニラ現地)
- 杉本 梓 (マニラ現地)
- 狩野 未樹子 (マニラ現地)
- 福永 真美 (マニラ現地)
- 伊吹 翼 (マニラ現地)
- 富井 七海 (マニラ現地)

## マニラ

### Paaralang Pantao パーララン・パンタオ

\*フィリピン語で「人々のための学校」。  
 パヤタスダンプサイトのふもとにある未就学児童のためのフリースクール。  
 教員登用や奨学生制度により地域人材の活用と育成も行う。

### Samakabai サマカバイ

パヤタスダンプサイトのふもとの女性たちが集うボランティア組織。  
 地域の子供のための栄養食配給、学習支援、生計支援を行う。

### Vincentian Missionaries Social Development Foundation Inc. ヴィンセンチャンミッショナリーソーシャルデベロップメント財団

社会的弱者が自身が立ち上がり人権を主張することを支援するキリスト教系の財団。  
 フィリピン全土に事業地域があり、組織設立支援、住環境支援、生計支援を行う。

## セブ

### Tulay sa Kinabuhi トゥーライサキナブヒ

キリスト教プロテスタント系の住民組織。NPOハロハロとともに組織を設立。  
 教育支援、生計支援、緊急支援、人材育成を行う。

### Dumlog Fishermen Association ドゥムログ漁業組合

ドゥムログ地域の漁師組合。

### New Life Saving Cooperative ニューライフセービング組合

台風ヨランダ被災後に地域の女性たちが集まってセービング組合を結成。  
 自分たちの生活のために貯蓄を行うことを奨励するとともに、  
 日用品の作製と販売による生計支援を展開中。



2015年ハロハロを支えてくださった団体様

<p>らあ麺屋 ひろ Ramen-ya Hiro</p>	 <small>Fairtrade &amp; Ethical Accessories</small> Feliz	 公益財団法人 日本国際協力財団
<p>gooddo gooddo株式会社</p>	 SAGANO <small>嵯峨野株式会社</small>	 JEC連合
 Linklusion <small>Toward the Inclusive World</small>	<p>新洋電気(株) Lampada II</p>	<p>パッチワーク</p>
 PALETTE	 SOIF	 READYFOR? READYFOR株式会社
 Class for Everyone	 アイストリーム株式会社	 OFFICE INVEIDER
 (株)ビジュアルボイス	<p>特定非営利活動法人 ヒューマンサービスセンター</p>	 くらふと楓杏
 シアターカフェ	<p>Stella Promotion</p>	 uniquease <small>(yu-nik-ka-se)</small>

## 1.活動計算書

科目	金額	小計
受取会費	183,000	183,000
受取寄付金	1,530,478	1,530,478
受取助成金	1,190,000	1,190,000
経常収益	生産者支援と交流	1,609,714
	フェアトレードの実践	680,817
	事業収入	1,887,453
	国際理解と協力の啓発	
	その他収益	178
経常収益計		7,081,640
経常費用	生産者支援と交流	4,729,796
	フェアトレードの実践	437,402
	事業費	348,978
	国際理解と協力の啓発	
	管理費	1,307,759
経常費用計		6,823,935
当期経常増減額		257,705
法人税、住民税事業税		0
当期正味財産増減額		257,705
前期繰越正味財産額		501,351
次期繰越正味財産額		759,056

## 2.貸借対照表

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金預金	811,588	預り金	4,782
	1,166,560	短期借入金	402,722
棚卸資産	354,972	固定負債	0
固定資産	0	負債の部 計	407,504
資産の部 計	1,166,560	正味財産の部	
		前期繰越正味財産	501,351
		当期繰越正味財産	257,705
		正味財産の部 計	759,056
		負債及び正味財産の部 計	1,166,560

団体名	特定非営利活動法人ハロハロ
法人設立日	2012年12月19日(任意団体:2008年10月～)
理事長	成瀬 悠
住所	東京都江東区深川1-1-2 403
TEL/FAX	03-5875-9923
E-mail	mail@npohalohalo.org
HomePage	www.npohalohalo.org
facebook	npohalohalo
Twitter	@npohalohalo